

## News Release

2018年11月30日  
日立キャピタル株式会社

## 青森県東北町で JA ゆうき青森向けのバイオガス発電所が竣工



発電所の全景

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)の子会社である日立グリーンエナジー株式会社(代表取締役:石田 諭/以下、日立グリーンエナジー)が出資する合同会社が行う、ゆうき青森農業協同組合(以下、JAゆうき青森)の農作物残渣(非食用部)等を活用したバイオガス発電事業(以下、本事業)に関し、発電システムの建設が完了し、2018年11月28日に商用運転を開始しましたことをお知らせいたします。

本事業は、JAゆうき青森の選果場で大量に発生するながいも残渣を活用した発電事業で、自然エネルギーベンチャーである株式会社イーパワーを中心に、日立グリーンエナジーが出資する合同会社にて進めてきたプロジェクトです。この度、JAゆうき青森の敷地内に、国立大学法人豊橋技術科学大学とイクナム研設株式会社等を中心とする産学コンソーシアム(以下、本コンソーシアム)が開発した、豊橋式バイオガス発電システムが設置されました。本事業では、日量4トン強のながいも残渣等をメタン発酵槽に投入してバイオガスを発生させ、年間約16万kWh(標準世帯の電力使用量を3,000kWhとして53世帯分)の電気を、固定価格買取制度を使って東北電力に売電します。

本事業の発電量は小さいものの、バイオガス発電は太陽光や風力と異なり24時間の発電が可能なベースロード電源であり、また、廃棄物の有効利用に加えて、廃棄物処理コストを削減できる効果が見込めます。さらに、JA ゆうき青森では、発電機から発生する排熱を回収し隣地に新設するビニールハウスにて有効活用して、寒冷地の課題である冬場の農業を可能とする仕組みづくりに挑戦します。

日立グリーンエナジーは、現在、本コンソーシアムと連携し、全国の農業協同組合や食品工場、大型商業施設、自治体等に対して、本事業と同様に有機資源を最大限に活用したバイオガスエネルギー事業の展開を計画しています。

また、日立キャピタルグループは、経営方針に「地球環境を考え、社会の発展と人々の豊かなくらしを実現するため新しい価値を創造し提供する“社会価値創造企業”」を掲げています。今後も社会の課題に向き合い、地域創生および資源循環型社会の構築に貢献します。

#### ■ ゆうき青森農業協同組合概要

組 合 名	ゆうき青森農業協同組合
代表理事組合長	酒井 一由
所 在 地	青森県上北郡東北町字素柄邸 82 番地 3
設 立 年 月 日	2010 年 4 月 1 日

#### ■ 施設概要

事 業 者	合同会社農業連携 BG 投資組合 1 号
所 在 地	青森県上北郡東北町字土場 28 番 5(JA ゆうき青森所有地)
設 備 概 要	原水槽、メタン発酵槽、浄化槽、ガスバック室、発電機等設備一式
処 理 能 力	5 トン未満/日

#### ■ 合同会社概要

事 業 者	合同会社農業連携 BG 投資組合 1 号
所 在 地	東京都千代田区平河町一丁目 3 番 13 号
設 立 年 月 日	2018 年 4 月 25 日
資 本 金	10 万円

#### ■ 日立グリーンエナジー概要

社 名	日立グリーンエナジー株式会社
代 表 者	代表取締役 石田 諭
所 在 地	東京都港区西新橋一丁目 3 番 1 号
設 立 年 月 日	2001 年 12 月 21 日
事 業 概 要	電気および熱の供給事業
資 本 金	3 百万円 (出資比率:日立キャピタル株式会社 100%)

#### ■ 株式会社イーパワー概要

社 名	株式会社イーパワー
代 表 者	代表取締役 松原 卓也
所 在 地	東京都港区港南二丁目 16 番 2 号 太陽生命品川ビル 28 階
設 立 年 月 日	2013 年 3 月 15 日
事 業 概 要	再生可能エネルギー等による発電事業およびコンサルティング業
資 本 金	17.5 百万円

■照会先

日立キャピタル株式会社

新事業研究・開発部 事業開発グループ [担当:中村、富田]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-5068 (直通)

■ニュースリリースに関するお問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:関、伊藤]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上